

令和3年7月6日

保護者様

横浜市立釜利谷南小学校  
校長 田中 さくら

## 着衣による水泳学習のお知らせ

子ども達は夏休みを楽しみにしている今日この頃です。

さて本校では、児童の安全指導の観点から「着衣による水泳学習」を実施しております。実際に着衣で水に入った場合の体験を、水泳学習に取り入れたものです。

つきましては、次の要領でご準備いただきますよう、よろしく願いいたします。

1 日 時 令和3年 7月 12日 (月)  
5年 1・2校時 6年 3・4校時

【予備日】 16日 (金)

2 対象児童 5、6年生

3 ねらい ・海や川などでの水難事故の際の対応方法を学ぶ。  
・ペットボトルなどを使って、長く浮く方法を習得する。

4 準備するもの ・水泳セット (水着、水泳帽、タオル)  
・水泳カード (押印)  
・プールに入るときの着衣  
※水着の上から服やズボンを着用します。  
(体験効果を高めるため、長袖の服や長ズボンなどの冬服が望ましい)  
・濡れたものを入れるビニール袋

【準備できれば】 ・ペットボトル1～2本  
(2ℓが望ましいが、1ℓでもよい。身近にある物の中から浮く体験をします。)  
・靴 (きれいに洗ったもの)

※すべてのものに記名を忘れずにごすること

## 5 注意事項

※水泳学習の実施に注意を要する、または見学での学習となる場合  
(医師の診断結果を最優先として判断する)

- ・目、耳、鼻、咽喉等に疾病のある場合 (特に流行性角結膜炎等)
- ・発熱や腹痛・下痢のある場合
- ・病気快復直後の場合
- ・けがの治りきっていない場合 (すりきず程度は可)
- ・その他、伝染性の病気がある場合

## 6 水泳学習にあたって

- ・プールに入る前日は、夜更かしをせず早く寝る。
- ・疲れているとき、体調の悪いときは、絶対にプールに入らない。
- ・手足の爪を短く切り、髪の毛も清潔にして、他人の迷惑にならないようにする。
- ・ヘアピンなどの金属製のものは身に付けない。
- ・紺色のスクール水着の着用が望ましい。(水着の色、形は学習の場にふさわしいシンプルなものをお願いします。)
- ・水泳帽は所定の色のもとし、額の部分に大きく名前を記入する。  
　　<水泳帽の色> 5年生： 水色      6年生： 緑
- ・ゴーグルが必要な場合は申し出て、水泳カードに記入してください。
- ・絆創膏やミサンガをつけてプールに入れません。

## 7 水泳参加時の手続き

プールに入る日の朝、保護者が健康観察をし、水泳カード (別紙) に日付、児童の体温を記入、捺印の上、担任に提出してください。サイン不可、日付違い不可

※記入もれがある場合や捺印がない場合、水泳帽子などの忘れ物がある場合にはプールには入れません。また、学校から電話での確認はいたしません。